

本格ケータイ小説「私の名前は、あいふおん」

欠端林檎

私の名前は、あいふおん。

前世は、かごあい、って聞いたことがある。モニター画面がミニサイズで人気だったそうだけど、この話をもっと聞こうとすると、なんかみんなもご言いくそうにする。まあ、気にしていないけど。

あと、用事を言いつけられるときは、しり、と呼ばれている。「しり、そらはどこだ？連絡とれ」「しり、この辺で素泊まりできる宿はないのか」という感じ。本人が計画性のない、こつちがしりぬぐいさせられるのは納得できない。

主人の名前は、まつお。

ハイカイGOというゲームに夢中で、私をずっといじっている。ハイカイをゲットするために、東京を出て、東北から北陸まで歩くというのだから、ハイパーハイカイ老人ね。

ゲームとしては、ハイカイをゲットしたら、それをネタにツイートして、フォロワーがリプライする、そのやりとりが調子いいと、ハイカイコインが貯まるらしい。そっちでも流行ってない？ ツイートは五七五しぼりで、ゲットしたハイカイの名前を入れるのが決まり。短かつ。

主人は、あれで名の知れたトレーナーだそう。フォロワーがあちこちに居て、オフ会によく誘われてご馳走になってる。ゲームが得意なのは、老後にいいのね。

この間なんかは、フルイケとカワズをゲットして伝説的なビッグポイントをとってた。それから、音を立てないように静かに近づいて、イワとセミをゲットしたのも見事だった。ナツクサとツワモノという超レアハイカイをゲットしたときなんかは、あんまり感激して涙をずっと流していた。なんか涙もろいおじいさん、でもこれも評判のツイートだったみたい。

ハイカイを探してあちこち行くと、川下り怖かった、とか、お寺を拝観したけどヒ・ミ・ツ、宿におねえさんたちがいたけど声かけられなかった、なんてフェースブックにまめにアップしてる。こんなこまごまとした記録も、そのうちまとめて出版しようって意気込んでる。フォロワーが多いもんだから、すっかり舞い上がってるわ。

それはいいんだけど、私の扱いは荒っぽい。

私がいないと、まつおはハイカイGOもフェースブックもできないくせに、ちっとも大事にしてくんない。しりぬぐいどころか、この前なんかトイレに落とされて流されてしまったのよ。山形の戸沢村の辺りのホテルだったかな。これじや呆けモンよ。防水だったから私もまだ元気になっているけれど、失礼しちゃう。こんなときでも、まつおは平気な顔でツイートして、「五月雨を集めて早し最上川」だって。あんまりでしょ。

あ、長電話みたいになってごめん。またね。